

平成 25 年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間 (5~10年) が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)
 (対象：平成 20 年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業案)		
	再評価時点 H20	切通川 広域河川改修事業 事業主体：県 事業地： 神崎市 みやき町 上峰町	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 190m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=130億円 工期：S50~H35 改修延長：L=11,200m 計画流量：190m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管46基、橋梁14基、堰8基	用地買取については、上流部を残しほぼ完了している。 下流部の改修は概成し、中流部の改修促進を図っているところである。 橋梁10橋、堰1基完成 (H19末進捗率 75%) (年平均進捗率 2.3%)	(過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 127戸 農地浸水面積 270ha (地域の状況) S54以降、下流から上流にかけて圃場整備が行われ、H8に完了している。	現在 (B/C) 6.1		再評価実施後 5 年が経過	継続		
	現時点 H25	切通川 河川整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金：広域河川改修事業)			用地買取については、上流部を残しほぼ完了している。 下流部の改修は概成し、中流部の改修促進を図っているところである。 橋梁10橋、堰2基完成 (H24末進捗率 80%) (年平均進捗率 2.1%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 同上	最新のマニュアルに基づき、費用対効果 (B/C) を算出した。 ・総便益 (一般資産被害額・農作物被害額・公共土木施設等被害額等) B=172,307百万円 ・総費用額 C=30,328百万円 ・現在 (B/C) 5.7	<ul style="list-style-type: none"> 再生材の積極的利用 発生残土を他事業 (道路整備、河川改修) に有効利用 堰改築については、統廃合の可能性について地元と調整している。 	再評価実施後 5 年が経過	昭和47年、平成2年等の洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。		
	理由等	平成22年度より補助金が社会資本整備総合交付金化されたため										